



# 第50期 中間事業報告書

平成17年4月1日から  
平成17年9月30日まで

エスケー化研株式会社



代表取締役社長

藤井 實

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループ第50期中間期(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)の連結業績につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における日本経済は、企業業績の回復を背景とする設備投資の拡大により景気は踊り場を脱しつつ

あるとみられていますが、原油価格や市況商品価格の高止まりが続き、依然として不透明感が拭えない状況が続きました。

建築塗料業界におきましても、公共投資は未だ減少基調にあり、一般建築市場も低調、新設住宅着工戸数は増加傾向にあるものの、住宅投資もまだら模様状態の域を脱せず、業界全体の総需要の拡大には至らず厳しい経営環境のまま推移いたしました。

一方、当社グループが事業展開を行っているアジア経済は、中国では、GNP8~9%の成長はあるものの、政府の金融引締めや元の引上げ等により投資関連に厳しさが出て来ており、東南アジアの建設分野も、一部を除き新たな需要が拡大しないうえに価格競争も厳しい状況にありました。

このような環境のもと、国内総合リニューアル市場では、引き続き、特許製品の超低汚染・高耐久性塗料のセラミックハイブリッド製品が販売拡大に寄与するとともに、新築市場では、高級化と個性化への要

望の高まりから、オリジナルの意匠性塗材や新工法が住宅の差別化製品として市場から高い評価を受けました。更に、当社グループは環境問題に積極的に取り組み、VOC1%未満、非トルエン・キシレンの室内用塗料や遮熱・断熱機能を持つ省エネ塗料の開発を始め、安全面では業界初の耐火塗料や無機断熱材等特殊機能型製品の市場開発を強化してまいりました。

この結果、主力の建築仕上塗材分野が好調に推移し、連結売上高は235億87百万(前年同期比7.5%増)となりました。

また、利益面におきましては、差別化された高付加価値製品の販売拡大等のプラス要因がありましたが、厳しい価格競争に伴う販売価格の更なる低下、原油高による原材料費の上昇や人員増強による人件費の増加等により、経常利益は28億73百万円(前年同期比6.4%減)、中間純利益は16億71百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格の動向や中国経済の増勢鈍化等の影響が懸念されており、景気の先行きは依然として不透明なものとなっております。

このような状況の中にあつて、当社は、建築仕上塗材の分野では業界一の製品開発力と品揃え、先進のテクノロジーと環境に配慮した安全設計で顧客の信頼性を一層高めることによりオンリーワン、NO.1企業としての地位を固めてまいります。

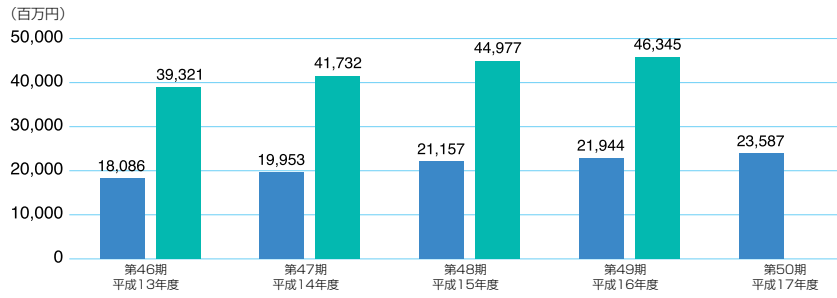
通期の連結業績予想につきましては、売上高505億円、経常利益65億円、当期純利益38億80百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

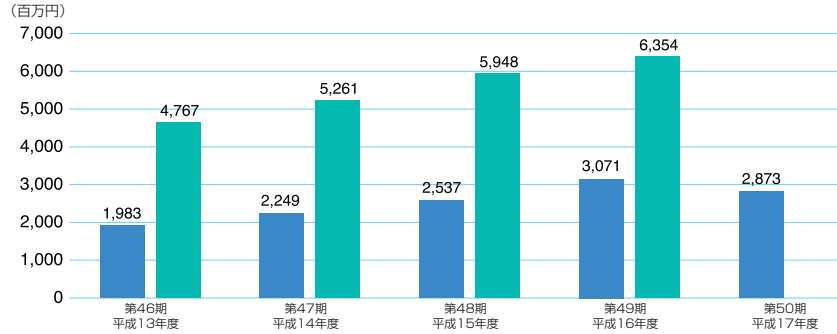
平成17年12月

● 業績の推移（連結）

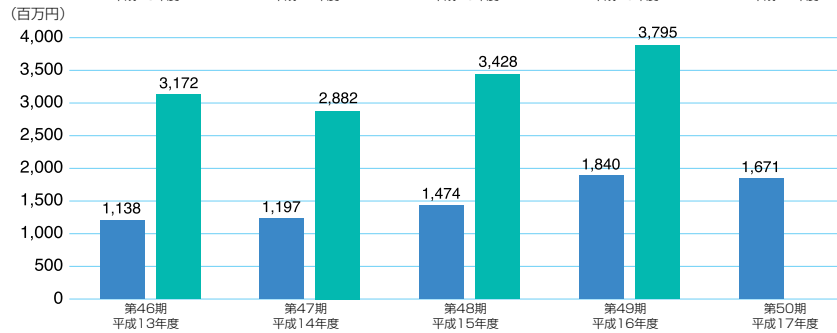
■ 売上高



■ 経常利益



■ 中間(当期)純利益



■ 中間期  
■ 通期

# 中間連結貸借対照表

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成16年9月30日現在	平成17年9月30日現在	平成17年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	35,826	37,503	37,380
現金及び預金	17,376	17,217	18,298
受取手形及び売掛金	14,064	15,063	14,721
有価証券	200	610	19
たな卸資産	3,466	3,912	3,705
繰延税金資産	527	520	601
その他	414	389	261
貸倒引当金	△ 223	△ 211	△ 226
固定資産	14,087	14,345	13,655
有形固定資産	9,858	10,690	9,951
建物及び構築物	2,724	2,887	2,690
機械装置及び運搬具	880	976	860
土地	6,043	6,672	6,039
建設仮勘定	50	24	222
その他	159	130	137
無形固定資産	418	428	411
投資その他の資産	3,809	3,226	3,293
投資有価証券	1,744	1,149	1,234
繰延税金資産	490	503	489
その他	1,717	1,739	1,707
貸倒引当金	△ 143	△ 166	△ 137
資産合計	49,913	51,849	51,036

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成16年9月30日現在	平成17年9月30日現在	平成17年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	10,640	10,688	11,103
支払手形及び買掛金	4,032	4,106	4,204
短期借入金	2,220	2,019	2,000
未払法人税等	1,131	1,162	1,202
賞与引当金	809	838	979
製品保証引当金	99	80	90
その他	2,346	2,480	2,625
固定負債	2,557	2,393	2,481
長期未払金	1,068	833	956
退職給付引当金	391	392	383
役員退職慰労引当金	734	758	746
その他	363	408	395
負債合計	13,198	13,082	13,584
(資本の部)			
資本金	2,662	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137	3,137
利益剰余金	31,404	34,525	33,359
その他有価証券評価差額金	39	22	22
為替換算調整勘定	△ 397	△ 314	△ 485
自己株式	△ 130	△ 1,265	△ 1,243
資本合計	36,715	38,766	37,452
負債及び資本合計	49,913	51,849	51,036

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
( 経 常 損 益 の 部 )			
営業損益の部			
営業収益			
売上高	21,944	23,587	46,345
営業費用			
売上原価	14,515	15,952	31,137
販売費及び一般管理費	4,692	5,015	9,413
営業利益	<b>2,736</b>	<b>2,618</b>	<b>5,795</b>
営業外損益の部			
営業外収益	<b>358</b>	<b>304</b>	<b>619</b>
受取利息及び配当金	40	30	66
その他	318	274	552
営業外費用	<b>23</b>	<b>49</b>	<b>60</b>
支払利息	5	5	8
その他	17	44	51
経常利益	<b>3,071</b>	<b>2,873</b>	<b>6,354</b>
税金等調整前中間(当期)純利益	<b>3,071</b>	<b>2,873</b>	<b>6,354</b>
法人税、住民税及び事業税	1,091	1,135	2,480
法人税等調整額	138	66	78
中間(当期)純利益	<b>1,840</b>	<b>1,671</b>	<b>3,795</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 「快適」「健康」「安全」「安心」「環境」で躍進するSKK

## 50周年記念事業

昭和30年の創業以来、今期で50周年を迎えます。これを機に感謝の意を込めて、東京、大阪、名古屋、福岡の各都市で謝恩祝賀会を開催致しました。これら2500名を超えるお客様を前に、「ここ10年で国内シェア50%、連結売上高1000億円を目指して参ります」と、長期ビジョンを発表致しました。

エスケー化研株式会社  
創業50周年記念謝恩祝賀会



## 東京支社事務所移転と ショールームの開設

関東市場の拡大と共に、今後更なる飛躍を目指し、手狭になった事務所を9月に移転しました。事務所内にはショールームを設け、新市場の開拓の拠点として大きな役割を果たします。



## 韓国のソウルに子会社、 中国の大連、瀋陽に出張所を開設

メガロアジアオンリーワン、No.1企業を目指し、海外市場の拡大、販売拠点の拡充が続きます。



ソウル事務所



大連事務所



瀋陽出張所

## 2004年の申告所得<sup>※</sup>で エスケー化研は塗料業界で2位に躍進

建築仕上塗材の分野ではシェアが約40%と、No.1の実績を誇りますが、塗料業界全体の中でも2位へと躍進しました。

今後、特許技術によるオンリーワン製品の開発とサービス体制の充実により、一層躍進して参ります。

※2004年中に到来した決算期末を最終日とする一年間の数値。年一回決算で3月末が決算の場合は、企業会計年度で2003年度の数値

●塗料メーカーベスト40(5位までを抜粋) (単位:百万円)

順位	会社名	04年(申告)所得
1	関西ペイント(株)(大阪)	10,930
2	<b>エスケー化研(株)(大阪)</b>	<b>5,746</b>
3	日本ペイント(大阪)	4,537
4	大日本塗料(大阪)	2,431
5	藤倉化成(東京)	2,092

(出展:雑誌「建材フォーラム(工文社)2005年10月号」)

## ■ 会社概要 (平成17年9月30日現在)

設立	昭和33年4月17日
資本金	26億6,200万円
従業員数	1,254名(連結)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築仕上塗材事業 有機無機水系塗料、合成樹脂塗料、無機質系塗材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負</li> <li>● 耐火断熱事業 断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負</li> <li>● その他の事業 各種化成品、洗浄剤等の製造販売</li> </ul>

## ■ 役員

代表取締役社長	藤井 實	取締役	福岡 透
専務取締役	坂本 雅英	取締役	伊藤 義之
常務取締役	藤井 実広	常勤監査役	金谷 昶克
取締役	廣瀬 勝義	監査役	辻村 倅太郎
取締役	藤井 訓広	監査役	森山 剛正



本社

## ■ 主要な事業所

本社	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-25 TEL. 072-621-7720	大利根工場	〒303-0044 茨城県水海道市菅生町191-1
営業本部	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-25	名古屋工場	〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-2
東京支社	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18	兵庫工場	〒679-0221 兵庫県加東郡滝野町河高字黒石355-40
大阪支店	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-31	埼玉工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-6
福岡支店	〒813-0062 福岡市東区松島5-6-16	第一技術研究所	〒567-0059 大阪府茨木市清水1-25-10
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-7-21	第二技術研究所	〒567-0056 大阪府茨木市南清水町4-1
大阪工場	〒567-0056 大阪府茨木市南清水町4-5	営業所全国44ヶ所	
神奈川工場	〒228-0012 神奈川県座間市広野台2-3-30	< 海外 >	
九州工場	〒820-0609 福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26	北京駐在事務所	北京市朝陽区建国門大街1号

## ■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD.	(シンガポール)	SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.	(上海)
SKK (H'K) CO.,LTD.	(香港)	SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD.	(タイ)
SK KAKEN (M) SDN.BHD.	(マレーシア)	SKK KAKEN (KOREA) CO.,LTD.	(韓国)
SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD.	(マレーシア)		



<http://www.sk-kaken.co.jp/>

## 株主メモ

---

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
名義書換代理人	その他必要ある場合、あらかじめ公告する一定の日 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
連絡先	東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 (〒171-8508) 三菱信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
1単元の株式数	1,000株
公告掲載紙	日本経済新聞

